

帽子業助長機關

| | | | | |
|---------|---------|--------|-------|-----|
| 帽子業助長機關 | 子 供 帽 | 一、二三六打 | 九〇打 | 一打 |
| 計 | 帽 体 | 二、六八五 | 二五五 | 一 |
| | 計 | 二八、二八二 | 四、六九一 | 一二〇 |
| | 九 月 | | | |
| 中 折 帽 | 一七、八五八打 | 一、四一八打 | 三〇打 | |
| 中 山 帽 | 一 | 一 | 一 | |
| 中 兒 帽 | 二、八六六 | 三八〇 | 一 | |
| 子 供 帽 | 一、二四五 | 一四七 | 一 | |
| 婦 人 帽 | 一二九 | 一 | 一 | |
| 計 | 四、〇三一 | 九九 | 三〇 | |
| | 二六、一三〇 | 二、〇四四 | | |
| 十 月 | | | | |
| 中 折 帽 | 二六、一五三打 | 三、五二四打 | 一一四打 | |
| 中 山 帽 | 六 | 一 | 一 | |
| 中 兒 帽 | 四、七〇〇 | 一、七三九 | 一 | |
| 子 供 帽 | 一、四〇〇 | 一二〇 | 一 | |
| 婦 人 帽 | 八四 | 一 | 一 | |
| 計 | 三、五六八 | 一 | 一 | |

計 三五、九一一 五、三八三 一一四

備考 中兒帽とは大人と小供との合物、格下合格とは準合格の意、輸出検査は昭和三年五月一日より實施。

斯くの如くフェルト帽子並に其の帽体の輸出検査は、現在は僅かに大阪府管内に於いてのみ勵行さるゝに過ぎない爲め、依然徹底を缺くの嫌があるが、元來大阪は輸出帽子の生産地として全國に冠たる地位を占めてゐるのであるから、先づ大阪府より初めて漸次検査施行の範圍を擴張しても餘り支障は來たさなからうと組合では稱して居る。

第七章 帽子業の將來と其の振興策

第一節 帽子業の將來と大阪市の帽子業

内地需要 以上大阪市帽子業發達の沿革並に其の現状を略述せるを以つて、今其の將來並に振興策に關し大阪に於ける當業者の意見を記すこととする。

我國一般文化の向上並に婦人(特に學生、生徒)小供等の洋裝の普及に伴ひ、今や帽子は單なる裝飾、贅澤品の時代を過ぎて、吾人の日常生活に必要缺く可からざる實用品となつたのであるから、今後人口の増加と生活の向上とに伴ひ其の需要は年々増加し之が製造販賣業亦益々繁榮を見るは何人も疑はざる處であるが、等しく有望と稱するも其の程度に至つては各帽子各々異なり又本市と他の帽子製造地との間にも發展の程度に多大の差異ある事は言を俟たない。今過去に於ける發達の歴史に鑑み又現状に徴して其の將來を卜するに、冬物としてはフェルトと鳥打は今後益々需

帽子業の將來と其の振興策

要を増すであらう。即ち現在に於いてもフェルト、鳥打帽子は共に其の生産高最も多く、其の將來亦一般に極めて有望視されてゐるのである。尤も中には鳥打帽子は所謂丁稚帽子にして、一般需要家の趣味嗜好の變遷に伴ひ一般の趣好は漸次フェルトに移りつゝありと觀る向もあるが、社會的階級、職業、年齢、嗜好等に依つて、其の帽子も亦異なる道理にて、一概に悲觀すべきものではないが、之をフェルト帽子の將來に比する時は幾分遜色あるは否み難い。次に合物としては同じくフェルト中折並に鳥打有望にして只色合、柄、生地等に多少冬物と相違する處あるのみにて、其の他の點に至つては何等事情を異にしない。

夏物としては麥稈帽子と模造パナマは將來とても最も需要多かるべく、只麥稈は比較的安價である爲め、パナマに比し一層有望であるとせられてゐる。但し大阪の麥稈帽子製造業の將來に關しては當業者間に悲觀、樂觀の兩様の説が行はれてゐるから、左に兩説を對比して大方の判斷を仰ぐこととする。先づ大阪の麥稈帽子製造業は現在行き詰りの状態に在ると觀る悲觀説を掲ぐるに、

一、近年麥稈眞田の主産地たる中國、四國地方に於いて、麥稈一文字の製造が盛んに行はれる様になり、其等下筋の需要を充たすと共に他方全國的に移出する結果、大阪の同品製造家は多大の影響を受くるに至つた。而して大阪に比し同地方の斯業に有利なる點を擧ぐれば、(一)職工が質朴温順にして労働爭議を惹起するが如き事殆んどなきこと(二)工賃の低廉なること(三)工場用地が安直に得られること、(四)原料の仕入が容易であること、(五)同一種類のものを大量に製造すること、(六)一般諸経費が僅少であること等にして、小賣値段の如きも大阪製品に比し低廉である。従つて

工賃、諸掛を多額に要する等種々不利なる生産條件を具有する大阪の麥稈帽子製造業は、今後下筋との競争には多大の困難を見るべく、僅かに技術の優秀なる點を武器として専ら高級品の生産に主力を注ぐ外ないであらう云々。次に樂觀説としては、

一、大阪麥稈帽子製造業は右悲觀説の如く工賃、原料其他の關係上成る程近年或る程度の影響を蒙りつゝあることは之を認むるも、其は主として下級品に關してであつて、高級品に就いては何等言ふに足る程の影響はない。即ち(一)麥稈一文字は容積大なる爲め、中國、四國地方より態々大阪方面迄輸送しては運賃の點で採算の取れないこと、(二)同地方の製帽技術未だ幼稚なる爲め大阪製品に比し品質上尠からず遜色あり、従つて其の販路は全然地方方向にして大阪其他の都會地には適しないこと並に(三)現在安物を以つて満足してゐる其等地方民と雖も帽子に對する嗜好の向上することに連れて漸次高級品に向ふべき傾向あること等が樂觀説の理由とする處である。而して第一項の運賃は殊に安物のことであるから假令少額の運賃にても直ちに小賣値に影響するを以つて、尠くとも大阪市の需要に對しては餘り影響する處はないであらう。

模造パナマは麥稈帽子に比し價格一般に高く、麥稈帽子の上物の約倍額に相當するを以つて現在需要者の尠いことは争はれぬ處であるが、麥稈帽子に比し耐久力あり、且つ雨に浸さるゝ程度少き爲め需要は年々増加し行く一方にして、年々の増加率に相違こそあれ、減退を示すが如きことは將來もないであらう。尙當業者の觀察する處に依れば現在模造パナマの需要者は麥稈帽子十人に對し三人の割合であらうとの事である。

小供帽子並に婦人帽子も亦極めて有望とせられてゐる。即ち婦人小供の洋装の普及は必然的に其等の帽子に對する需要を増加せしむるからである。學生帽子は需要階級が略ぼ一定してゐるので、將來とても大した變化はない様であるが、同業者間の競争激烈を極め動もすれば供給過多に陥る爲め、益々薄利となり資本の薄弱なる當業者は可なり窮境に沈倫してゐる様である。最後にヘルメットは逐年需要増加し、其の大阪に於ける年産額の約三割宛を年々増加しつつあるの現狀に徴し、其の將來は頗る有望視されてゐる。只此の帽子は多くの長所を有し居るも、大抵熱帯地方向であること、他品に比し夏帽子として稍々高價の嫌あり、且つ萬人向ならざる爲め、其の普及の速度は幾分緩漫の恨がある。要之冬帽としてはフェルト、鳥打、夏帽としては麥稈、パナマは今後とても動かぬ處であらう。

輸出 既に第四章第一節に述べたる如く大阪製帽子の主要輸出先は支那及南洋にして、殊に支那は人口の多きと其の文化の急激に進歩しつつあるの現狀に鑑み、將來益々需要増加すべきは極めて明白なる事實である。而して現在支那に於いて帽子の消費せらるゝは大抵開港場並に其の附近及び都會地に多く、奥地に至つては今後の發展に俟つべきものがあるが故に大阪製品の對支輸出の將來亦極めて有望と稱すべきであらう。只茲に留意すべきは支那内地に於ける斯業の發達と、本邦輸出品に對する年中行事的の排斥である。即ち支那内地に於いて斯業發達すれば我輸出は當然之が影響を受くるに至るべく、又我對支外交政策に對する反感に起因する排日運動は常に日貨排斥運動を伴ひ、轉んじて國貨提唱を叫びしむる結果、本邦輸出品は茲に著るしき打撃を受け、他面支那内地の斯業は之を機會として更に一段の發達を遂ぐるに至るのである。故に本邦品輸出の將來が有望なりと言ふことは右の點が將來我國に有利に展

開さるゝ事を前提とする時初めて言ひ得ることにして、近年の如く支那に動亂續き、日貨排斥の頻々として行はるゝに於いては到底所期の發展は之を望む事が出来ないのである。尙支那斯業の勃興に關しては彼地の現狀は我國に比し著るしく幼稚なる爲め、假令今後進歩する事あるも他方我製帽業も進歩を遂ぐるを以つて彼我製帽技術には常に若干の距りがあり現今の如き下級品を主眼とする我輸出方針を捨て、彼の及ばざる高級品に努力を傾注する時は支那に於ける斯業の發達も左程憂ふるに足りないであらう。尙大阪製輸出帽子として將來最も有望なるものはフェルト帽子にして、次いで麥稈帽子、小供帽子、パナマ帽子等である。

第二節 振興策

内地取引か輸出か 大阪市の帽子業が今後更に大なる活躍發展を遂ぐる爲めには如何なる途を採るべきか、先づ先決問題として内地取引に重きを置くべきか、海外輸出に主力を注ぐべきかに關し、多數當業者の意見を徴するに内地取引と輸出は等分に努力すべきであつて其の何れか一方に偏するは當を得たるものにあらずと言ふのが一般の輿論である。即ち大阪市としては現在は勿論將來とても、内地に於ける販路は到底之を輕視するを許さず、今後文化の進展するに連れて帽子着用の風習は益々盛んとなり、又帽子に對する一般國民の考も次第に進み行くのであるから内地市場は將來一層繁劇を加ふるであらう。例へば從來は一個の帽子を年中（夏期を除く）着用せしものが、現在にては合帽と冬帽との二個を用ひ、又従前に比し新品を購入する度數頻繁となりしに鑑み、將來に於いては更に歐米諸國に於けるが如く散歩用、訪問用等其の場合の異なるに従つて着用する帽子を取代ふるに至るであらうことは想像に難くない

處である。然るに他方内地で生産さるゝ帽子を内地で消費せしめることは今日既に困難であつて將來製造施設が完備して現在以上の大量生産が行はるゝ様になれば忽ち生産過剰に陥るのであるから、斯く内地市場に努力すると共に他面海外に市場を求めて以つて其の消化を圖るべきである。

大阪市主要業者の意見 内地取引の振興策に關しては既に第四章第三節、第七節、第八節、第九節等に於いて部分的に觸れたる爲め、茲には主として輸出取引を主眼として其の振興策を述べることとする。先づ左に一二代表的業者の意見を紹介する。(談話筆記責任在記者)

株式會社樋口商店社長 樋口 勇吉 氏

輸出振興策と稱するも帽子の如きは其の目標とする市場が、主として支那南洋等専ら支那人の勢力範圍であるから之が振興策も亦主として其等の方面を對象とすることは言ふ迄もない。而して本邦製造業者、輸出業者としては先づ品質の改善統一を圖り、價格に於いても出來得る限り低廉を期する事が肝要であるが、何よりも重要な事は我對支政策の確立である。即ち支那商と安んじて取引の出來る様、排日運動等の起らない様其の對支政策を樹立して貰ふことが最も緊要である。昨今の如く我對支外交方針が動搖してゐては支那を最大の顧客とする大阪市業者の如きは絶えず不安に襲はれ、到底圓滿なる取引を遂行することが出來ないのである。即ち支那が日本に對して悪感情を抱き排日の態度を採るに至らば、必然の結果として日貨排斥運動が惹起されるのである。而して吾々は從來より屢々之が苦き經驗を嘗め來つたのである。現に日本の輸出品が品質に於いて勝り而も價格が支那の國産品に比し低廉であつても、

單に感情の上から假令一時的にせよ、日貨を排斥し國貨を購入するのであるから支那に反感を起させることは本邦輸出業者として最も苦痛とするのである。又他面斯の如き排日排日貨運動に依つて困るのは獨り本邦業者のみではなく、本邦品を取扱へる支那商も同様に大いに苦痛とするのであるが、微力な吾々業者が如何に努力するも到底及ばない處であつて、即ち問題は正に政治問題、外交問題と稱すべきである。尤も此の事は獨り帽子に限らず廣く一般輸出雜貨に共通の問題である。

次に將來に於ける我輸出方針としては、品質に重きを置くべきか、それとも價格の低廉を特徴とすべきかと言ふに本邦品の取扱商の中でも、一般に歐米人は品質本位であり、支那人は値段本位である。而して現今本邦輸出品が主として支那商を経由して取引さるゝ關係上、最近益々品質よりも價格の低廉なるに重きを置く傾向加はり、其の結果日本は粗製品より製造し得ずと言ふ誤れる觀念を需要者たる一般支那國民に抱かせることになるのである。素より之は日本の製帽技術が幼稚である爲めではなく、唯價格のみを重視する結果に外ならない。而して若し吾々が此の状態儘で進んで行くなれば、何時かは競争場裡の落伍者たるべきことは、今日より充分察知し得る處である。然し今後方針を改めて品質にも相當努力を拂ふ様にすれば優に伊太利品、獨逸品、チエツコスロヴァキア品等と角逐して行くことが出來ると信するのである。殊に日本は他の競争國に比し、支那とは地理的に優利な地位を占めてゐるのであるから、將來は價格にも意を注がねばならぬが、品質の維持向上を圖る事は更に肝要だと言はねばならぬ。最近本市に工業組合が創設され、輸出品の検査を勵行するに至つたのも、全く業者の此の方面に於ける覺醒の顯れに外ならぬ。

株式會社 高橋製帽所社長 高橋清藏氏

本邦帽子輸出振興策として先づ第一に力説したい事は品質の改良である。即ち今日の如く粗悪な安物を輸出して彼地の一般需要者に安かる悪かるの悪印象を興へることは果して我帽子輸出業にとつて將來好結果を齎す所以であらうか、大阪市の有力な輸出商の中には大阪品の如き安物は世界廣しと雖も他に之を求め得ないのであるから、價格の低廉なるを特徴として、今後の方針を改めず、一路邁進すべしと主張する者もある様であるが、自分は賛成し難い。如何にも本邦帽子輸出額は年々増加はしてゐるが、之を需める相手は常に變つてゐる。即ち値段の安きに釣られて一度は買ふが、實際使用して見て忽ち其の粗悪なるに驚き再び買ふとはしない。故に若し現在の方針を以つて今後も進んで行くならば、早晚日本の即ち本市の帽子輸出業は行詰まる外はないと思ふのである。然らば之を改善する方法如何と言ふに、先づ製造家聯盟を組織するのが最良策かと信ずる。而して一方假令神戸、川口等の支那商人より強要されても、或る程度以下の品は全然注文を引受けず、斯くして品質の維持向上を圖ると共に、他面一種のダンピング政策を採つて優良品を安價で輸出することに努めるのである。即ち輸出品は極めて僅少な利益か或は原價位で賣り、其の埋め合せを内地向製品とするのである。而して此の政策は尠くとも海外市場に於ける本邦帽子の地位が確立するに至る迄繼續するのである。

歐洲大戰前迄は支那南洋向の安物帽子は主として伊太利及び獨逸に依つて供給され、之に英國及び米國が若干の高級品を輸出してゐたのであるが、大戰勃發と共に、之等の諸國が戰爭に参加し、其の輸出杜絶するや、茲に本邦品に

對する需要俄然激増し、我國に於ける帽子製造業は實に未曾有の活況を呈したのである。然るに戰爭一度終熄し漸次

參戰各國の常態に復するや、戰時中占めたる日本の地盤は今や次第に奪回されんとしつゝあるのである。

然し吾輩の考へでは、前述の製造家聯盟を組織して優良品を低廉に販賣する方針を以つて進めば、戰時中占めたる地位を維持することは勿論更に進んで充分競争各國に對抗することが出來ると思ふのである。例へばフェルトの輸出に於いて支那、南洋方面に於ける我國の最も有力なる競争國たる伊太利と比較するも、日本は極めて有利な地位に置かれてゐるのである。即ち(一)原毛は日、伊共に濠洲より輸入するのであるから、此點に於いては二者大差なしとするも、(二)工賃に於いては日本が遙かに低廉である、又(三)労働時間も日本の方が長いと思ふ。次に(四)日本人は一般に手工技術に長じてゐるから帽子製造の如く手工技術に俟つ處多きものは、決して伊太利人に劣らない、又(五)色合に對しても日本人は一般に鋭敏繊細な鑑識眼を有つてゐる。更に(六)競争場裡たる支那、南洋市場に對しては伊太利に比し地理的に甚だ有利な地位を占めてゐる等諸種の好條件を具備してゐるから、優に伊太利に對抗することが出來ると思ふ。只一點不安に感ずるのは我職工の能率の低い點である。故に此の缺點さへ除去する事が出來れば、支那南洋は勿論更に進んで現在伊太利が供給しつゝある北米、中米、南米、阿弗利加、印度等の各市場に於いても遣り方一つで充分伊太利の販路を侵略し得る可能性があると思ふのである。

次に主張したいことは輸出獎勵策としての技術的研究の必要なることである。例へば我國に於けるフェルト帽子製造業は周知の如く先づ支那第一革命を轉機として發展の緒に就き、這般の歐洲大戰に依つて愈々確立を見たのであつ

て、其れ迄の状態は殆んど言ふに足りなかつたのである。明治の初葉歐米文化崇拜の風潮が一般に瀰漫してゐた當時は、専ら舶來品を輸入するのみであつたが、年を閲するに従つて漸次舶來品を見本として之を模倣する模倣時代に移り、其後更に英國より優秀なる帽子製造機械を輸入して、種々工夫を凝らして製造する様になつたが、大抵機械に添付された説明書を頼りに製造する程度であつて、外國人の技師を雇入れて本式に製造技術を習得する等のことは僅かに東京帽子株式會社を除いては絶無と稱するも過言でない状態であるから技術上今後の研究に俟つべき處は甚だ多いのである。且つ我國帽子製造業の歴史は之を歐米先進國の夫に比して極めて短かいのであるから、未だ眞に熟練工の名に値する程の職工が居らない。吾輩が先年米國の帽子工場を視察した際、往々白髮の老職工を見受けたが、之等は未だ我國の工場に於いては見られぬ處である。要之我國の帽子は外見上形式は整つてゐる様であるが、其の精神に於いて缺くる處があると思はれるのである。

尙我國帽子製造並に之が輸出振興上希望に堪えざるは政府の保護奨励である。即ち帽子製造業の如く今後益々發展の見込あり、且つ發展せしむべき必要ある事業に於いては、政府が積極的に斯業發達の爲め、或は補助金を交附し或は其他有効なる方法を以つて極力奨励援助に努むることが望ましいのである。最後に輸出振興上今一つ重要な事は輸出品の規格統一である。即ちサイズ、品質、色合等に就いて各當業者間に一定の標準を定め、更に進んでは取引方法輸出方法等に至る迄充分協定を計り、統一ある方法の下に取引する事が斯業發達上極めて有効であると信ずるのである。但し以上列擧せる内製造家の聯盟に關する一項は大いに必要なことではあるが、今日の群雄割據時代にあつて

は或は實現至難かと思はれる云々。

素より右は僅かに一二主要當業者の斷片的に洩らせる意見を録せるに過ぎず、且つ其の總てを盡せるものではないが、凡そ當業者として如何なる主張、希望があるかを知るべき參考になると思ふ。殊に大阪市同業者中には個々の點は別とするも其の大綱に於いて略ぼ右兩氏と其の意見を同じくせる者が多い。尙輸出振興改善策としては(一)荷造を一層完全にすること (二)新型流行品の考案に努力すること (三)廣告宣傳に努むること等を擧げ得る。

最後に本調査を行ふに際し、大阪帽子同業組合を首め當業者各位が終始多大の便宜を興へられ、調査完成の爲め極力援助せられたるに對し、茲に深甚なる謝意を表すると共に、將來益々協力一致して斯業發達の爲めに一意努力せられんことを切望する。

附刊の諸君の注意

昭和三年十二月十八日印刷
昭和三年十二月二十日發行
大阪市役所産業部
印刷人 中井藤藏
印刷所 大阪進光堂
大阪市此花區大開町一丁目
電話土佐堀一七四二番



